

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2024年11月28日
【事業年度】	第71期（自 2020年9月1日 至 2021年8月31日）
【会社名】	株式会社文教堂グループホールディングス
【英訳名】	BUNKYODO GROUP HOLDINGS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐藤 協治
【本店の所在の場所】	神奈川県川崎市高津区久本三丁目1番28号
【電話番号】	044(811)0118
【事務連絡者氏名】	取締役財務経理部長 小林 友幸
【最寄りの連絡場所】	神奈川県川崎市高津区久本三丁目1番28号
【電話番号】	044(811)0118
【事務連絡者氏名】	取締役財務経理部長 小林 友幸
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2021年11月26日に提出いたしました第71期（自 2020年9月1日 至 2021年8月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、今回の訂正による損益への影響はありません。

2【訂正事項】

第一部企業情報

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

注記事項

(重要な会計上の見積り)

(連結損益計算書関係)

(リース取引関係)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第5【経理の状況】

1【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

【注記事項】

(重要な会計上の見積り)

(訂正前)

(省略)

2. たな卸資産の評価

(1) 当連結会計年度の連結財務諸表に計上した金額

当連結会計年度の連結損益計算書に計上した、たな卸資産の簿価の切下額は83,386千円であります。

(省略)

(訂正後)

(省略)

2. たな卸資産の評価

(1) 当連結会計年度の連結財務諸表に計上した金額

当連結会計年度の連結損益計算書に計上した、たな卸資産の簿価の切下額は 390,324千円であります。

たな卸資産評価損の内訳は、前連結会計年度に計上した商品に係る評価損907,374千円の戻し、当連結会計年度に計上した商品に係る評価損517,050千円であります。

(省略)

(連結損益計算書関係)

(訂正前)

1. 期末たな卸高は収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次のたな卸資産評価損が売上原価に含まれております。

前連結会計年度 (自 2019年 9月 1日 至 2020年 8月 31日)	当連結会計年度 (自 2020年 9月 1日 至 2021年 8月 31日)
<u>132,385</u> 千円	<u>83,386</u> 千円
(省略)	

(訂正後)

1. 期末たな卸高は収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次のたな卸資産評価損が売上原価に含まれております。

前連結会計年度 (自 2019年 9月 1日 至 2020年 8月 31日)	当連結会計年度 (自 2020年 9月 1日 至 2021年 8月 31日)
<u>3,210,921</u> 千円	<u>390,324</u> 千円
(省略)	

(リース取引関係)

(訂正前)

(借主側)

ファイナンス・リース取引

(省略)

(訂正後)

(借主側)

1. ファイナンス・リース取引

(省略)

2. オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
1年内	36,706	35,421
1年超	16,176	29,472
合計	52,882	64,893